



## 2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月12日

上場会社名 株式会社Finatextホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 4419 URL https://hd.finatext.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役CEO (氏名) 林 良太  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役CFO (氏名) 伊藤 祐一郎 (TEL) 03(6265)6828  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	2,104	28.0	223	29.7	214	27.4	366	212.8
2025年3月期第1四半期	1,644	72.7	172	—	168	—	117	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 419百万円(238.2%) 2025年3月期第1四半期 123百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	7.15	7.09
2025年3月期第1四半期	2.34	2.23

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	17,981	10,085	51.8
2025年3月期	19,026	9,627	47.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 9,311百万円 2025年3月期 8,947百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	42.8	1,870	96.8	1,840	95.0	1,210	83.4	23.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期1Q	51,300,212株	2025年3月期	51,300,212株
2026年3月期1Q	6株	2025年3月期	1株
2026年3月期1Q	51,300,207株	2025年3月期1Q	50,070,184株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、「金融をサービスとして再発明する」をミッションに掲げております。このミッションのもと、金融サービス事業者向けの次世代クラウド基幹システムの提供等を通じて、パートナー企業とともに人々にとって遠い存在である金融サービスを暮らしに寄り添ったものを目指すことを目指しております。

今般、日本の経済は新型コロナウイルス感染症の影響が薄まり、政府や日銀による各種経済政策の効果も相まって社会活動の正常化に向けた動きが見られ、経済が持ち直し始めているものの、世界的な金融引き締めによる物価高騰や急激な円安などの影響もあり、景気の先行きについては不透明な状況が続いています。しかしながら、金融サービスにおけるデジタルトランスフォーメーションの流れは衰えることなく、当社グループが提供するサービスのニーズもより一層高まっていると認識しております。

このような事業環境のもと、当第1四半期連結累計期間においては、継続的な事業成長を実現するため、引き続き人材採用や機能拡充に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、金融インフラストラクチャ事業のビジネスが伸長し、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,104,954千円（前年同期比28.0%増）、営業利益は223,227千円（前年同期比29.7%増）、経常利益は214,701千円（前年同期比27.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、回収可能性が認められた繰延税金資産の増加に伴う法人税等調整額の計上などにより366,863千円（前年同期比212.8%増）となりました。

なお、当社グループの売上高はお客様の予算執行の関係により、契約上の納期が下期に集中する傾向が高いため、上期における売上高に比べ下期の売上高が多くなるといった季節的変動があります。

セグメント別の業績は以下の通りです。

#### (i) 金融インフラストラクチャ事業

金融インフラストラクチャ事業では、金融サービスを運営するために必要となる複雑な基幹システムを、クラウド上でSaaS型のシステムとして顧客に提供しております。

証券インフラストラクチャビジネスでは、サービス提供しているパートナーへの保守運用サービス、合意済みのパートナーに向けた初期開発に注力しました。当第1四半期連結会計期間においては、新規パートナーへの開発支援によるフロー収益と投資一任サービスを提供するパートナーの顧客が保有するAUMの拡大等に伴って増加する従量課金収益が売上高の拡大に寄与しました。サービスの初期開発については、バイビュー・アセット・マネジメント株式会社が「BaaS」を導入し、投資信託の直接販売サービス「バイビュー投信」をローンチしました。また、REAL LIFE株式会社が「DWM」を活用したサービスを開始しました。この結果、「BaaS」上での稼働サービス数は21サービス（前連結会計年度末時点：19サービス）となっております。

保険インフラストラクチャビジネスでは、新規パートナーの獲得に向け、当社グループの保険基幹システムである「Inspire」の機能拡充に注力しました。当第1四半期連結会計期間においては、「Inspire」の初期導入開発によるフロー収益が売上高の拡大に寄与しました。初期導入については、株式会社ヤマダ少額短期保険とウィズ少額短期保険株式会社に「Inspire」を導入しました。この結果、「Inspire」の導入企業数は13社（前連結会計年度末時点：11社）となっております。

クレジットインフラストラクチャビジネスでは、引き続きクレジットインフラストラクチャ「Crest」の基盤開発に注力しました。当第1四半期連結累計期間においては、株式会社スマートバンクが「Crest」を活用したローンの組込みサービスを開始しました。この結果、「Crest」上での稼働社数は3社（前連結会計年度末時点：2社）となっております。

コスト面については、証券インフラストラクチャビジネス、保険インフラストラクチャ、及びクレジットインフラストラクチャビジネスともに、将来のビジネス拡大に備えるために、引き続き人材採用を中心とした先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の金融インフラストラクチャ事業の売上高は1,457,952千円（前年同期比67.4%増）、セグメント利益は190,124千円（前年同期比は274%増）となりました。

(ii) フィンテックシフト事業

フィンテックシフト事業では、金融機関向けにデジタルトランスフォーメーション及びデジタルマーケティングの支援を行っております。

当四半期は、システム構築を支援した既存顧客向けに追加機能拡充の支援等を進めました。

以上の結果、事業は計画通りに進捗しているものの、前年同期のフロー収益が大きかった影響により、当第1四半期連結累計期間のフィンテックシフト事業の売上高は177,991千円（前年同期比55.1%減）、セグメント損失は82,847千円（前年同期は57,921千円のセグメント利益）となりました。

(iii) ビッグデータ解析事業

ビッグデータ解析事業は、ビッグデータを保有する企業のデータ利活用の促進を支援しており、企業の持つビッグデータを主に金融業界及び不動産業界向けに提供するデータサービスビジネス、生成AIの活用を支援するデータAIソリューションビジネスを行っております。

データサービスビジネスでは、昨年度にリリースした不動産業界向けソリューションである「DataLensHub」の機能拡充を行いました。

データAIソリューションビジネスでは、昨年度から新規事業として開始し、データウェアハウスから業務アプリケーションの開発まで網羅的に支援できる体制の構築を行いました。

以上の結果、不動産領域向けの新サービスと生成AI活用支援のビジネスが拡大し、当第1四半期連結累計期間のビッグデータ解析事業の売上高は469,010千円（前年同期比24.5%増）、セグメント利益は48,537千円（前年同期比21.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産合計は17,981,830千円となり、前連結会計年度末に比べて1,045,117千円減少いたしました。

流動資産は16,736,306千円となり、前連結会計年度末と比較して1,343,638千円減少いたしました。これは主に証券業における預託金が1,780,000千円、証券業における短期差入保証金が591,242千円、証券業における立替金689,965千円が減少した一方、現金及び預金が2,212,276千円増加したこと等によるものであります。

固定資産は1,245,524千円となり、前連結会計年度末と比較して298,520千円増加いたしました。これは主に、通期業績の予測数値及び今後の業績動向を総合的に勘案し回収可能性が認められた繰延税金資産の計上により投資その他の資産が239,073千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は7,896,346千円となり、前連結会計年度末と比較して1,503,427千円減少いたしました。

流動負債は6,789,312千円となり、前連結会計年度末に比べて2,037,027千円減少いたしました。これは主に証券業における預り金が1,401,522千円、短期借入金が600,000千円減少したこと等によるものであります。

固定負債及び特別法上の準備金は1,107,034千円となり、前連結会計年度末に比べて533,600千円増加いたしました。これは長期借入金が533,600千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,085,483千円となり、前連結会計年度末に比べて458,309千円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益等により利益剰余金が366,863千円増加し、新株予約権が39,102千円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月13日に公表いたしました通期の業績予想につきましては、現在のところ変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,454,730	6,667,007
売掛金	1,536,870	864,509
契約資産	236,353	307,754
営業貸付金	2,763,316	2,861,261
買取債権	110,910	95,911
証券業における預託金	6,066,000	4,286,000
証券業における信用取引資産	87,258	43,417
証券業における短期差入保証金	1,092,110	500,868
証券業における立替金	957,389	267,424
未収入金	518,291	510,554
その他	274,692	343,628
貸倒引当金	△17,979	△12,030
流動資産合計	18,079,945	16,736,306
固定資産		
有形固定資産	77,956	88,728
無形固定資産	520,621	569,296
投資その他の資産	348,425	587,498
固定資産合計	947,003	1,245,524
資産合計	19,026,948	17,981,830

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	32,314	35,551
契約負債	196,539	206,131
未払金	661,980	341,479
証券業における預り金	5,313,369	3,911,847
証券業における受入保証金	5,149	5,609
1年内返済予定の長期借入金	532,800	866,000
未払法人税等	226,263	33,549
賞与引当金	-	76,152
短期借入金	600,000	-
信託型ストックオプション関連損失引当金	7,139	-
その他	1,250,783	1,312,990
流動負債合計	8,826,340	6,789,312
固定負債		
長期借入金	467,800	1,001,400
資産除去債務	42,160	42,160
固定負債合計	509,960	1,043,560
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	63,474	63,474
特別法上の準備金合計	63,474	63,474
負債合計	9,399,774	7,896,346
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	158,088	158,088
資本剰余金	12,285,908	12,285,908
利益剰余金	△3,509,517	△3,142,653
自己株式	△0	△5
株主資本合計	8,934,478	9,301,337
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	12,581	9,795
その他の包括利益累計額合計	12,581	9,795
新株予約権	155,960	195,063
非支配株主持分	524,153	579,287
純資産合計	9,627,174	10,085,483
負債純資産合計	19,026,948	17,981,830

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,644,349	2,104,954
売上原価	637,727	753,119
売上総利益	1,006,621	1,351,835
販売費及び一般管理費	834,466	1,128,607
営業利益	172,155	223,227
営業外収益		
受取利息	1,428	3,015
受取配当金	3	-
消費税等差額	371	-
その他	986	1,721
営業外収益合計	2,789	4,736
営業外費用		
支払利息	1,736	4,743
為替差損	4,350	2,884
消費税等差額	-	3,265
その他	275	2,368
営業外費用合計	6,363	13,261
経常利益	168,581	214,701
特別損失		
減損損失	7,733	-
信託型ストックオプション関連損失	3,667	-
特別損失合計	11,401	-
税金等調整前四半期純利益	157,180	214,701
法人税、住民税及び事業税	73,293	27,911
法人税等調整額	△30,454	△237,948
法人税等合計	42,839	△210,036
四半期純利益	114,341	424,738
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,924	57,874
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,265	366,863

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	114,341	424,738
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	-
繰延ヘッジ損益	3,600	-
為替換算調整勘定	5,999	△5,527
その他の包括利益合計	9,622	△5,527
四半期包括利益	123,963	419,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	124,488	364,078
非支配株主に係る四半期包括利益	△524	55,133

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック シフト事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	495,820	—	—	495,820	—	495,820
保険インフラストラクチャ ビジネス	209,145	—	—	209,145	—	209,145
クレジットインフラストラク チャビジネス	62,587	—	—	62,587	—	62,587
マーケティングビジネス	—	28,601	—	28,601	—	28,601
ソリューションビジネス	—	368,023	—	368,023	—	368,023
データサービス (金融)	—	—	308,421	308,421	—	308,421
データサービス (不動産)	—	—	12,477	12,477	—	12,477
データAIソリューション ビジネス	—	—	55,671	55,671	—	55,671
顧客との契約から生じる収益	767,552	396,625	376,570	1,540,748	—	1,540,748
その他の収益	103,600	—	—	103,600	—	103,600
外部顧客への売上高	871,153	396,625	376,570	1,644,349	—	1,644,349
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	871,153	396,625	376,570	1,644,349	—	1,644,349
セグメント利益	50,796	57,921	61,662	170,380	1,774	172,155

(注) 1. セグメント利益の調整額1,774千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額1,774千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	金融インフラ ストラクチャ 事業	フィンテック シフト事業	ビッグデータ 解析事業	計		
売上高						
証券インフラストラクチャ ビジネス	944,973	—	—	944,973	—	944,973
保険インフラストラクチャ ビジネス	275,667	—	—	275,667	—	275,667
クレジットインフラストラク チャビジネス	61,514	—	—	61,514	—	61,514
マーケティングビジネス	—	11,616	—	11,616	—	11,616
ソリューションビジネス	—	166,374	—	166,374	—	166,374
データサービス (金融)	—	—	287,277	287,277	—	287,277
データサービス (不動産)	—	—	46,211	46,211	—	46,211
データAIソリューション ビジネス	—	—	135,521	135,521	—	135,521
顧客との契約から生じる収益	1,282,155	177,991	469,010	1,929,157	—	1,929,157
その他の収益	175,796	—	—	175,796	—	175,796
外部顧客への売上高	1,457,952	177,991	469,010	2,104,954	—	2,104,954
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,457,952	177,991	469,010	2,104,954	—	2,104,954
セグメント利益又は損失 (△)	190,124	△82,847	48,537	155,814	67,412	223,227

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額67,412千円は、報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額67,412千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの名称変更)

当第1四半期連結会計期間より、報告セグメント「フィンテックソリューション事業」について事業内容をより明確に表現するため、「フィンテックシフト事業」に名称を変更しています。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称により作成したものを記載しております。

(収益の分解情報の区分変更)

当第1四半期連結会計期間より、当社グループの事業構造の変化等を踏まえ、収益の分解情報の区分ごとの業績をより適切に反映させるため、「データライセンスビジネス」、「データ解析支援ビジネス」から「データサービス (金融)」、「データサービス (不動産)」と記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	24,344千円	34,614千円